

危機管理監目標

● 危機管理監 井上 典(いのうえ つかさ)



● 当室の仕事をもって貢献しているSDGsの主なゴール



● ゼロカーボンシティ実現に向けた当室の方針

2050年のゼロカーボンシティ実現に向け、災害備蓄品を購入する際は、可能な限りエコ商品を選択します。また、消防団の詰所の照明器具の新設や修繕を行う場合、LED化に努めます。令和4年度は、「応急物資備蓄・保守事業」、「消防団第7分団詰所整備事業」などの取り組みを進めます。

● 危機管理室の仕事

危機管理室は、危機管理・防災グループと消防グループで構成され、所沢市の災害対策、危機事象への対応、国民保護計画、消防団に関する事務などが主な仕事です。

● 危機管理室の令和4年度の目標

危機管理室では、市民の生命・身体・財産を守るための施策を進めるため、所沢市地域防災計画の改定、防災行政無線の整備を行うとともに、消防団員の処遇改善と第7分団の詰所新設工事、消防ポンプ自動車の更新でハード・ソフト両面から地域防災力の充実強化を図ります。

● 目標達成に向けた重点事業

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	地域防災力の充実強化	所沢市地域防災計画をより簡潔で実効性のあるものとするため、抜本的に見直しを行い、地域防災力の充実強化を図ります。	・所沢市地域防災計画を簡素化し、わかりやすく、使いやすいものに改定します。 ・所沢市総合防災訓練及び所沢市、関係機関、関係事業者が参加する大規模訓練を実施します。 ・災害時発生後の市民生活や行政機能等の速やかな回復を図るため、事業者等と災害時応援協定の締結を進めます。	・これまで800ページを超えていた地域防災計画は、平時、非常時など場面ごとに冊子を分け、総ページも378ページとコンパクトかつ使いやすいものに改定しました。 ・総合防災訓練も大規模訓練も3年ぶりに実施し、参加者数は37,730人で概ねコロナ前に戻っています。 ・令和4年度は災害時応援協定を、企業2社と締結しました。

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
2	情報伝達手段の拡充	災害時などにおける市民への情報伝達手段の整備、拡充を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・固定系防災行政無線の子局を3基増設します。 ・ところざわほっとメールの登録者数増進に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規で固定系防災行政無線を3基設置し、市内全域で111基となりました。 ・ところざわほっとメールについて、広報ところざわへの掲載等で登録促進を行い、26,972人となりました。
3	消防団活動の充実	地域防災の中核を担う消防団の施設整備と団員不足解消に向けた取り組みにより、消防団活動の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速な消防団活動ができるように第7分団詰所の整備と消防ポンプ自動車を更新します。 ・消防団員充足率向上を目指し、市の広報誌や企業へのPR、施設へのポスター掲示などの入団促進活動に取り組みます。 <p>また、女性消防団員の人数を増やすことを検討します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第7分団の消防ポンプ車は9月、詰所は3月に引き渡しとなり、無事に更新されました。 ・消防団員入団促進については、様々な取り組みを行い年度末で289人/326人であり充足率88.7%、また女性消防団員は2名増の22名となりました。